

乳児組・幼児組  
保護者各位

2020.6.26  
しあわせ保育園  
看護師 岩谷 郷子

## 夏に多い皮膚や目の病気について

梅雨に入り、雨模様の日々が続いています。気温も湿度も上がり、体調を崩される園児さんが増えてきています。

夏は水いぼやとびひ、あせもや虫刺されなどの皮膚の病気、結膜炎やものもらいなどの目の病気にかかりやすい季節といわれています。

皮膚の病気はかゆみを伴うものも多く、かゆみは眠りに影響します。寝つきが悪くなったり、夜間の眠りが浅くなったりすると、体の疲れが取れず、他の病気にかかるリスクも高くなります。

また、目の病気は、元気なときには体に影響のない菌やウイルスが、寝不足や疲れている時に悪く働き、病気として現れるものも少なくありません。

症状が見られましたら、できるだけ早く受診していただきますようお願いいたします。

また、受診の際にお医者さんから生活の中で気をつけることなどの指示がありましたら必ず園の方にもお伝えくださいますようお願いいたします。

現在、園で多く見られる病気についての特徴などを簡単にまとめてみましたので、受診の際の参考にしてください。

**水いぼ**：最近の傾向として、とくに治療せず、自然に治るまで様子を見るという病院も増えてきているようです。何もしなければうつりませんが、お子さん自身が掻いたりして、いぼの中のウイルスが皮膚触れるとうつります。保育園は集団で生活している場所ですので、積極的な治療をお願いいたします。

**とびひ**：皮膚をかいたところに細菌が入ることのできる湿疹です。あせもや虫刺され、傷などをかいてしまうとそこに菌が入りとびひになることも多いです。とても感染力が強いので、できるだけ早く受診し治療してもらってください。

**あせも**：皮膚と皮膚が重なりやすいところや長い時間汗ばんだ状態が続く状況の時にできやすいです。汗をかいた服は早めに着替えるようにしましょう。また、着替える前に濡らしたタオルで拭いた後、乾いたタオルで拭きとるとすっきりします。症状によっては受診をお勧めします。

**虫刺され**：お子さんは年齢（月齢）が小さいほど虫に刺された後腫れて数日かゆみが続くなどの症状が出やすいといわれています。外遊びなど、外出されるときは虫よけを忘れずにしましょう。症状によっては受診が必要です。

わからないことや心配なことなどありましたら、遠慮なくお聞きください。